

第4回日本癌病態治療研究会の開催にあたって

大阪市立大学医学部第一外科

曾和融生

第4回日本癌病態治療研究会を大阪市でお世話させていただくことになりましたことを、教室員とともに大変光栄に存じております。

本研究会は、基礎・臨床の先生方が一堂に集まり、癌の病態・治療に関する基礎的ならびに臨床的研究の接点を見いだすことを目標の一つとして発足した研究会でありますので、基礎研究の成果が臨床の場でどれだけfeed backできるか、逆に、臨床研究が基礎的観点からどれだけ裏付けられるかなど、両分野のそれぞれの研究者が集まり、活発な討議が行われる研究会として発展してきております。

癌の病態の複雑さは、すなわち臨床での癌に対する治療効果が方程式通りにいかないことにもつながり、癌病態に関する研究の幅はますます広く、深くなるように感じられますが、最近の分子生物学ならびに免疫学の発展にはめざましいものがあり、種々の手法を応用した研究の努力が積み重ねられております。

今回の研究会においても、癌の増殖・進展にもっとも関係が深いと考えられる“癌の増殖因子”について、田原榮一教授からの特別講演が予定されており、またシンポジウム“癌とサイトカイン”では小川道雄教授、平野俊夫教授の司会で、担癌生体でのサイトカインの関与を討議していただくことになっております。

その他、癌の予後因子、化学予防、遺伝子、診断・治療と予後、さらには日常臨床のなかで遭遇した興味ある症例の報告をも含めて、広く癌の病態・治療の問題を掘り下げてみたいと考えております。

一般演題71題、シンポジウム8題と多くの貴重な、かつ興味ある演題を応募していただき、有難く存じておる次第であります。

さらに、本研究会発足以来のユニークな企画として、HLA班（班長 生越喬二氏）、QOL班（班長 林 知己夫氏）、遺伝子班（班長 馬場正三氏）が設けられており、毎回、1年間を通じての会員同士の共同研究の成果が班長から報告されますが、かかる分



野での研究の発展は本研究会発足の趣旨にもかなっており、研究会の発展に大いに貢献するものと期待されます。

本研究会が大阪市で行われるのははじめてでございますが、後になってあの問題は本研究会でも採り上げられたといえる、印象深い、実りのある研究会にしたいと思っております。ご多用のなかご司会、ならびに座長の労をお願いしました先生方に深謝致しますとともに、格別のご高配を賜りたく存じております。

最後になりましたが、このたびの阪神大震災の被害に遭われました諸先生方に心からお見舞い申し上げます。

第4回 日本癌病態治療研究会

当番世話人 曾和融生（大阪市立大学第一外科）

開催日 平成7年4月28日（金）

場 所 大阪ロイヤルホテル

連絡先および事務担当

大阪市立大学医学部第一外科

〒545 大阪市阿倍野区旭町1-5-7

担当：鄭 容錫

TEL 06-645-2146 FAX 06-646-6450